Creative Enzymes®

ネイティブヒトクレアチンキナーゼMM分画

Cat. No. NATE-0142

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼ、筋肉はCKMとしても知られ、人間ではCKM遺伝子によってコードされています。右の図には、筋肉型M-CKモノマーの結晶構造が示されています。生体内では、2つのモノマーが□称的に配置されて活性MM-CK酵素を形成します。心臓では、MM-CKホモダイマーに加えて、1つの筋肉型（M-CK）と1つの脳型（B-CK）サブユニットからなるヘテロダイマーMB-CKも発現しています。後者は、損傷した心筋細胞から血液中に放出され、臨床化学によって□出される場合、心筋梗塞の重要な血清マーカーとなる可能性があります。
用途	心筋損傷のモニタリングにおけるコントロールまたはキャリブレーターとして使用される可能性があります。人間の心臓からのクレアチンキナーゼMM分画は、急性心筋梗塞に□する緊急冠動脈バイパス移植における手術中および術後の心臓医療療法の重要性を調□する研究で使用されました。また、人間の心臓からのクレアチンキナーゼMM分画は、ST上昇心筋梗塞後の梗塞サイズと左心室機能のサーカディアン依存性を調□する研究でも使用されました。
別名	CKM; クレアチンキナーゼ、筋肉; CKMM; クレアチンキナーゼM型; クレアチンキナーゼ-M; クレアチンキナーゼM鎖; M-CK; MM-CK

製品情報

種	人間
由来	人間の心臓
形態	凍結乾燥粉末
緩衝液	トリス-HCl、EDTA、およびN-アセチルシステインを含む凍結乾燥粉末。
代謝□路	アルギニンとプロリンの代謝、特定の生物系; アルギニンとプロリンの代謝、保存された生物系; クレアチンの代謝、特定の生物系; クレアチン□路、特定の生物系; クレアチン□路、保存された生物系; 代謝□路、特定の生物系; 代謝、特定の生物系
機能	ATP結合; クレアチンキナーゼ活性; ヌクレオチド結合
単位定義	1つのユニットは、37°Cでクレアチンリン酸からADPに1.0 μmoleのリン酸を1分あたり転送します（結合反□によって生成されるNADHの等モル量として340 nmで測定）。

保管・発送情報

安定性	−20°C